# 令和４年度　　事　業　計　画　書

## Ⅰ　基　本　方　針

当公社は、那須塩原市黒磯文化会館の管理運営及び利用促進に関する事業を通して、文化、芸術の振興及び発展並びに創造に貢献するとともに、それらの活動を通して市民福祉の向上に役立つことを目指しています。

そこで、那須塩原市において「市民の文化及び教養の向上と芸術文化の振興」を目的に設置された文化施設が、その機能を十分発揮し、ひいては地域の発展につながるよう、那須塩原市黒磯文化会館の運営に携わってきた３０年間の経験を更に生かし、施設の管理運営に力を注ぎます。

また、これまで培ってきた施設管理に関する経験と実績を基に、一層の安全確保に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症への対策も十分に実施しつつ、長年育んできた市民の皆様との信頼関係を更に深め、引き続き利用者ニーズに沿った質の高いサービスの提供に努めます。

なお、本年度は、指定管理者として指定を受けた第５期目の最終年度であるとともに、「特定団体」として指定を受け、管理期間が３年から５年に延長された第１期目の最終年度でもあります。

受託期間が延長されたことで改めて行えることとなった組織強化に向けた対応が、安定的なサービスの継続及び中長期的な視点に立った更なる創意工夫による市民の文化及び教養の向上、そして地域の文化振興に向け、今後も一層貢献していけるための職員の能力向上及び法人自体の体力強化という成果に繋がるよう努めます。

さらに、長引くコロナ禍によって閉塞感漂う中においても、本市の文化芸術活動の灯を絶やさぬよう、利用者へのきめ細やかなケアをしつつ支援を行っていきます。

## Ⅱ　実　施　計　画

### １　地域文化振興事業

心豊かで活力のある地域づくりに向け、市民の芸術文化の発信源となるべく、良質な芸術鑑賞の場を提供するとともに、地域住民の文化芸術活動が活発に行われるよう、育成、参加の機会を設け、地域の芸術文化の振興を図ります。

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底するとともに、お客様に安心して利用していただけるよう、那須塩原市及び国・栃木県の対

策方針に基づき大ホールを中心に事業を展開します。

自主制作事業については、コロナ禍において延期となった令和2年度、令和3年度に制作した事業を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を取りながら、事業内容を勘案し各種団体と調整を行い、感染の防止に努め実施します。

（１）舞台芸術鑑賞事業

文化芸術が身近なものになるよう、音楽、演劇、舞踊など良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、多様化する利用者ニーズや幅広い年齢層に応じた事業の実施に努めます。

今年度は黒磯文化会館開館40周年であることから、舞台芸術鑑賞事業には「開館40周年記念」の冠を付け実施します。

（２）文化芸術活動育成事業

那須塩原市、学校等と連携し、次世代の文化芸術の担い手を育成する事業を展開します。

特に、市内中学校との連携では、８回目を迎える市内中学校合唱部が一堂に会して発表する「那須塩原市中学校合唱フェスティバル」を開催するほか、本年度からは市内中学校吹奏楽部の合同演奏会として「那須塩原市中学校吹奏楽フェスティバル」を開催します。また、市内小中学校の吹奏楽部と合唱部を対象とし、夏休み期間中のコンクールに向けた練習の場の提供や、２１回目を迎える地域の高校生を対象に音響・照明等の舞台技術指導を含めた演劇講習会の開催等、文化芸術活動の育成・支援を行います。

さらに、「家庭の日」の推進事業として行っている「バックステージツアー」を継続事業として実施し、家族が触れ合える機会を提供するほか、学校へ出向いて行う「ゴスペルミニライブ」を開催して将来のファン層拡大に努めます。

（３）文化芸術活動参加事業

地域で活動する自主的な芸術活動や文化団体等に対して、発表の機会を提供し、舞台発表の喜びと各種団体相互の親睦を図るとともに日頃の活動を知ってもらい地域文化の普及向上に努めます。

（４）ギャラリー展示事業（Share Arts なすしおばら）

市内の公共施設において市が保有する美術品その他の文化資産の展示紹介及び市民グループの作品展示を行うことで、市民に市の文化、芸術、歴史を身近に感じてもらうとともに、新たな芸術文化の創造、発信の契

機となるよう芸術文化の醸成を図ります。

２　施設の貸与及び管理運営事業

指定管理者の５期目の最終年にあたる令和４年度は、地域の芸術文化の活動拠点施設としての役割を十分認識した上で、那須塩原市と締結した「管理に関する基本協定」を遵守し、市関係課と緊密な連携を図りながら、施設の効果的な活用がなされるよう、適正かつ効率的な管理運営を行うほか、誰もが安心して施設を利用できよう安全確保に努めます。

なお、コロナ禍においても、安心して施設が利用できるよう、那須塩原市の対策方針に基づき、感染防止対策を行いつつ、利用向上が図れるよう努めます。

令和４年６月１７日で開館４０年を迎え、さらに施設の老朽化が進む中、令和元年度に策定された那須塩原市有施設の長寿命化計画において、黒磯文化会館は８０年間の共用を目標とされたことから、今後ますます施設の機能を維持するための改修も必要となるため、これまで以上に市所管課と一体となり、施設の総合的な改修計画策定を進めていきます。

また、これまで培ってきた舞台芸術に関する高い専門技術と知識、施設運営のノウハウ、長きにわたる関連団体との連携実績を生かし、公共性の高い法人として地域の芸術文化の振興に貢献していきます。

さらに、利用者に分かり易い、文化会館のホームページになるよう日々改良・改善し、Facebook 等の SNS を活用することで更なる情報の提供を積極的に行い、施設の利用促進を図るとともに、事業ごとにアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めます。

３　相互扶助

施設の更なる利用促進を図るため、イベント情報等の優先提供や自主事業に関わるチケット購入時の優先予約、料金割引等の特典を充実させ、黒磯文化会館友の会会員の拡充と定着化に努めます。